

平成28年度 磯子区運営方針 中間期振り返り

基本目標 地域の人たちとともに暮らすやすいまち・いそごを目指して

【達成度】
 5:目標を大きく上回る成果が上がった 4:目標を上回る成果が上がった 3:目標通りの成果が上がった
 2:目標を下回る成果に留まった 1:目標を大きく下回る成果に留まった

施策の柱	取組事項		自己評価			事業評価委員の評価		
	主な事業・取組	指標 ※()はH27実績	中間期 達成数値/達成時期	中間期 振り返りコメント	今後の予定	達成度	コメント	達成度
1 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち	(1)身近な地域で支えあう地域福祉や健康づくりの取組を推進します <福祉保健課 土木事務所>							
	①第3期磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」の推進	⇒ 取組についての情報共有ができる「地区別推進会議」の開催 27回	開催数 14回	・開催支援やその働きかけにより、予定どおり第3期計画の推進会議が開催された。地区内の各単会の取組状況が共有され、効果的な取組が地区内に広がるきっかけとなるなど、地区別取組を推進していく上で有益と考えるため、引き続きその開催を支援していく。	・推進会議等の開催 随時	3		3
	②保健活動推進員によるウォーキングイベントの継続・推進	⇒ 全地区1回以上(全地区1回以上)	1回以上 2地区 (1回実施 1地区、2回実施 1地区) ・実施人数 延べ65人	・保健活動推進員を対象に、ウォーキングイベントの企画・実施に関する内容を含んだ研修会を実施した(3日間【6/2・8・13】、延124人)。 ・保健活動推進員が、区内・市内の魅力を見出すコースを検討。下見を行い、参加者が安全に参加できるよう配慮し、実施している。	・未実施の7地区については、秋以降の実施に向け計画を検討中	3	・ウォーキングイベントは、いろいろなところで磯子みどころガイドを活用しながらやっており、非常に順調である。 ・保健活動推進員によるウォーキングイベントの研修会が6月にあったが、昨年以上に好評で、有意義なものだった。 ・ウォーキングイベントは秋が多く、残りの7地区もあるので、引き続き支援をお願いしたい。	3
	③健康づくりにつながる施設整備	⇒ 歩くことが楽しくなるルート整備 1か所、健康公園の整備 2か所(1か所)	・ルートの選定(磯子駅～磯子アベニュー～海の見える公園) ・健康公園の選定(泉谷第三公園、磯子間坂第二公園)	・高齢者の方にも利用していただきやすいように、平坦な「磯子アベニュー」をルートに選定し、磯子駅からの距離標や背伸ばしベンチを設置することとした。現在、具体的な設置箇所の検討を行っている。	・ベンチ、案内板の設置 3月 ・健康公園の整備 1月	3	・公園を利用している方々の意見も聞きながら、親しみやすく使いやすい公園の整備を進めてほしい。 ・磯子アベニューは、蚊の発生時期に小川が淀んでいるときもあったので、特に気を付けてほしい。	3
	(2)未来を担う子どもたちを健やかに育む環境づくりを推進します <こども家庭支援課 生活支援課>							
	①子育てサポートシステムの普及による地域ぐるみの子育て支援	⇒ 利用実人数の増加 月平均38人(月平均36.6人)	利用実人数 月平均32.6人(8月末現在) ※実績は翌々月集計 ・区内小学校へのチラシ配布(5月) ・保育園でのチラシやカードの配架(通年) ・地域ケアプラザでの入会説明会の実施(通年) ・利用希望者の多い地区での提供会員募集を中心としたチラシの配布(7月) ・広報9月号での周知 ・利用希望者の多い地区での入会説明会の実施(9/17) ・いそびヨ見学会の実施(9/27)	・利用ニーズのある層への周知に効果が出ており、利用会員数は年々増加している(H27年9月末377人→H28年9月末420人)。 ・利用希望者が少ない月があり利用実人数の増につながらなかった。 ・子育て世帯の転入や出生数が増加していることから、今後も利用ニーズは伸びることが予想されるため提供会員を確保していく必要がある。その取組として、市内小学校を通じ保護者向けに本事業と提供会員募集について周知を行ったところ、提供会員予定者研修に4件の申し込みがあった。	・認可保育所決定通知の発送時にチラシを同封 通年 ・学童合同説明会での周知 12月 ・地域ケアプラザでの説明会の実施 通年 ・提供・両方会員予定者研修の実施 10月	3	・子育てサポートシステムの普及に対して、民間企業で何かできることや事業会としてもっとPRしてほしいことがあれば協力したい。 ・子育てサポートシステムでお子さんを預ける際の費用はもう少し安くならないか。 ・子育てサポートシステムについては、民間のサービスもあるので、そのようなことに関連して利用者が変動するものは、単に増やせばいいということでもないで、何が問題なのかを振り返ってほしい。	3
	②市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業の推進	⇒ 保育の質向上のための研修開催 15回(11回)、園児同士の交流 北部15回、南部15回(北部13回、南部14回)	保育の質向上のための研修開催 9回(6/7、6/24、7/15、7/25、8/29、9/13、9/14、9/28) 園児同士の交流 北部3回、南部15回	・「保育基礎研修」「救急法研修」「保護者対応研修」「危機管理研修」「グループワーク研修」「防犯研修」を実施し、延べ320名が参加した。「日々の保育にそのまま生かせる内容だった」などの感想が寄せられた。 ・園児同士の交流は北部で延べ4園、南部で延べ45園が参加した。少人数保育を行う園から、「交流により園児の良い刺激になった」などの感想が寄せられた。	・保育の質の向上の研修6回 10月～3月 ・園児同士の交流 北部12回、南部15回	3		3
	③待機児童ゼロを目指したきめ細かな情報提供	⇒ 保育・教育コンシェルジュによる出張相談 24回(23回)、利用可能な保育施設等の紹介 保留児童全員	保育・教育コンシェルジュによる出張相談 29回	・地域子育て支援拠点や親子のつどいの広場等での出張相談を計画回数を増やして実施し、「保育所と幼稚園の違い」や「保育所以外の保育サービスはなにがあるか」など保護者の疑問にきめ細やかに答え、保育資源の情報を適切に提供できている。	・出張相談1回 10月 ・保育施設の紹介 保留児童全員 1月	4		4
	④「はまっ子ふれあいスクール」から「放課後キッズクラブ」への転換	⇒ 「放課後キッズクラブ」の開設準備 4校(2校)	・運営法人募集にかかる現場見学会 6月 ・運営法人応募受付 ～7月末(応募法人数 根岸小 2法人、浜小 3法人、洋光台第四小 3法人、森東小 5法人) ・選定検討会の開催 9月(根岸小 9/3、浜小 9/6、洋光台第四小 9/14、森東小 9/21)	・運営法人の選定についてはスケジュールどおりに進められている。 ・4校それぞれで運営法人選定検討会を開催し、学校や地域の委員から意見をいただいた。ここでの意見を踏まえ、区として運営法人を決定していく。	・法人の評価・決定 10月末 ・法人と学校との顔合わせ 11月 ・各校在校生・新入生保護者説明会 1月頃 ・各校キッズクラブ開設 3/1～	3		3
	⑤生活困窮世帯の子どもたちの将来の自立に向けた学習支援の実施	⇒ 寄り添い型学習支援「磯子ペンきょう会」の開催 2か所 200回(2か所 102回)	2か所 99回 ・磯子地域ケアプラザ 計50回 ・洋光台地域ケアプラザ 計49回 <参考> 参加者延べ人数 ・磯子地域ケアプラザ 計 666人 ・洋光台地域ケアプラザ 計 704人	・新年度から各会場ごとに、開催回数を週1回から週2回に増設した。回数が増えたことで、支援者との信頼関係も深まり、学習に取り組む習慣づけができてきている。 ・事業効果の検証のために、月1回、区役所と事業者の連絡会を実施しており、生徒の参加状況や学習状況の把握ができてきている。 ・参加登録者数(8月末現在)は総数48名となっており、必要な生徒が利用できている。(中学1年:11人、中学2年:13人、中学3年:23人、高校生:1人)	・事業者と区役所との連絡会の実施 月1回	4		4

施策の柱	取組事項		自己評価			事業評価委員の評価		
	主な事業・取組	指標 ※()はH27実績	中間期 達成数値/達成時期	中間期 振り返りコメント	今後の予定	達成度	コメント	達成度
1 ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち	(3)高齢者や障害のある方が自分らしくいきいきと暮らすための取組を推進します <高齢・障害支援課>							
	①地域包括ケアシステム構築に向けたネットワークづくり	⇒ 地域ケア会議の開催 25回 (25回)	地域ケア会議の開催 16回 ・個別ケース地域ケア会議 14回 ・包括レベル地域ケア会議 2回	・個別ケース地域ケア会議については本格実施3年目を迎え、上半期に7か所すべての地域ケアプラザで実施している。 ・包括レベル地域ケア会議は2か所の地域ケアプラザで実施し、認知症や高齢者世帯を地域でどう支えるかを関係者間で検討、見守り体制の現状や課題の共有、団地の階段をテーマとした健康づくりなどの話し合いを進めることができた。	・各地域ケアプラザで、個別ケース地域ケア会議及び包括レベル地域ケア会議を実施 ・11月に区レベル地域ケア会議を実施	3	・地域ケア会議は、具体的な事例で身近なところに入りながら、深く突っ込んで進めていかないと効果が上がらないのではないかと。 ・地域ケア会議について、地域差があるというのが実感で、統一されたものができてくると良い。 ・ケアプラザ同士の横の交流の中で、良い活動をしているケアプラザの情報が他にも伝わるとより効果的。	3
	②認知症高齢者への理解促進と地域の見守り体制づくりの推進	⇒ 認知症サポーターの養成 累計12,000人 (10,817人)、認知症サポーターの高齢者支援ボランティア登録 50人、初期認知症の講演会開催 80人	認知症サポーターの養成 累計11,249人 (4月～9月432人) ・各地域ケアプラザで認知症サポーター養成講座を実施 ・7月に区職員向け認知症サポーター養成講座実施 ・ボランティア登録やマッチングの仕組み、ステップアップ講座の実施について検討	・認知症サポーター養成講座について、各地域ケアプラザがキャラバンメイトと協働で住民や介護サービス事業所職員を対象に実施し、認知症の正しい理解の普及と地域の見守り体制づくりにつなげることができている。各地域ケアプラザでは、下半期に多くの講座を予定しており、準備を進めている。	・地域ケアプラザは認知症サポーター養成講座を随時実施予定 ・初期認知症講演会開催 10月 ・キャラバンメイト連絡会 10月 ・認知症サポーターの高齢者ボランティア登録受付開始 10月	3	・認知症サポーター養成講座は、キャラバンメイトがしっかりしていて、講座内容はだんだん良くなってきている。 ・ステップアップ講座は、次のボランティア登録につなげるために、広く広報して申し込みやすいようにしてほしい。	3
	③高齢者の介護予防の推進	⇒ 元気づくりステーション活動支援新規3か所・継続17か所、介護予防普及啓発講座・講演会の開催 参加者数3,700人 (3,679人)	元気づくりステーション新規3か所立上げ・継続17か所支援、介護予防普及啓発講座・講演会の開催 参加者数1,765人 ・介護予防普及のため磯子区の歌「みんなのISOGO」に合わせたハマトレ体操のDVDを作成中	・新規3グループが立ち上がり、高齢者が自ら介護予防に取り組む自主活動により、健康づくりにつなげることができた。 ・継続17か所についても、グループの自主活動が順調に維持継続できるよう、区や地域ケアプラザで支援を行い、各グループが積極的に体操等で介護予防の活動を行っている。 ・介護予防普及啓発講座・講演会について、各地域ケアプラザ及び区で区民向けに実施し、栄養やロコモティブシンドローム予防などの普及が進んでいる。	・元気づくりステーション20か所のグループ活動を地域ケアプラザと協働で支援 ・ハマトレ体操DVD披露を兼ねたロコモ予防講演会実施 12月 ・介護予防普及啓発講座・講演会について、区及び地域ケアプラザで随時実施	4	・元気づくりステーションは介護予防という形で体操を行うなど非常に良いことであり、ある意味では見守りにもつながっている。今までにない形で見守りが進んでおり、地域包括ケアにもつながるので、力を入れてほしい。 ・集合住宅等のセキュリティの問題で見守りができないことの解消として、元気づくりステーションのようなものは大事である。	4
	④自分らしく生きることができるよう、自らの老後を考える機会の創出	⇒ エンディングノート書き方講座の受講者 累計7,800人 (6,920人)	エンディングノート書き方講座の受講者 累計7,284人 (4月～9月364人)	エンディングノート書き方講座について、6か所の地域ケアプラザで実施し、老後の生き方を考えるきっかけづくりにつながっている。地域ケアプラザの講座は、年度後半に予定しているところが多く準備を進めている。	・区主催で、講師による成年後見制度普及啓発講演会と兼ねたエンディングノート書き方講座を実施 10/19 ・各地域ケアプラザで今後シニアライブ講座と併せて講座を実施 随時	3		3
⑤障害に対する正しい理解に向けた持続的な普及・啓発の促進	⇒ 啓発活動 15回 (13回)	啓発活動 8回 ・磯子事業会行政懇談会で障害者差別解消法について周知 (4/18) ・こすもすショップ(障害者施設自主製品販売)実施 (4/20・21、5/18・19、6/15・16、7/20・21、8/17・18、9/21) ・自殺予防週間パネル展 (9/10～16)	・障害者差別解消法が4月に施行され、事業所を対象に周知をタイムリーに実施することができた。 ・こすもすショップ(障害者施設自主製品販売)は毎月第3水木の定例販売として定着しており、区民と障害者のふれあいの場となっている。また、製品販売を通じて、地域の障害者施設への関心を高める機会になっている。今後も継続して実施していく。 ・自殺予防週間パネル展については、図書館と共催で実施し、双方の展示により関心を広げることができた。	・こすもすショップ実施 10月～3月 ・広報よこはま磯子区版(11月号)に特集を掲載 ・障害者週間パネル展・こすもすショップ (12/5～9)	3		3	

取組事項		自己評価			事業評価委員の評価			
施策の柱	主な事業・取組	指標 ※()はH27実績	中間期 達成数値/達成時期	中間期 振り返りコメント	今後の予定	達成度	コメント	達成度
2 魅力にあふれた住み続けたいま	(1)地域の特色を生かしたつながりづくりの活動を支援します <地域力推進担当>							
	①地域の様々な団体が意見交換を行う場(コスモスミーティング)の開催	⇒ 各地区の意見交換の内容を区連会及び地区連で全体共有 10月	・地区ごとに日程、参加者、テーマ等の調整 5月 ・9地区で開催 6~7月(6/17屏風ヶ浦、6/25汐見台、7/6岡村、7/13滝頭、7/20杉田、7/21根岸、7/22磯子、7/23上笹下、7/28洋光台 参加人数9地区:333人)	・テーマは、今年度都市計画マスタープラン・磯子区プランの素案を策定することから、各地区へ「まちづくり」の選定について検討を依頼した。 ・全地区で「まちづくり」をテーマに、自治会・町内会を中心にさまざまな立場の方に参加していただき、活発な意見交換が行われた。 ・区プラン策定に向け、各地区ごとの課題を中心に、広く意見収集を図ることができた。	・区連会で全体の実施報告、地区定例会で持ち帰った意見への回答 10月	3		3
	②自治会町内会と地域の団体が課題解決に取り組む事業への支援及び情報の共有	⇒ 地域活動通信(仮称)の発行 4回	活動通信「つながる ひろがる」の発行 1回 ・5団体(継続3団体・新規2団体)に補助金交付。また、交付終了後を見据えた情報提供等の支援を実施 ・地域運営補助金活用団体を紹介する活動通信「つながるひろがる」創刊号の発行 9月	・交付団体は年間計画に基づき、順調に活動を行っている。 ・「つながる ひろがる」では、2団体の活動を紹介した。紙面には、団体メンバーのコメントとして、活動の成果や活動を通して感じたことなどを掲載し、他団体への参考となるよう配慮した。	・活動通信の発行 10月、11月、1月 ・地域運営補助金の新規1件の申請受理 11月	3	・地域運営補助金が3年で終了した後、うまく継続しているのか。継続するとすると、どのような形で継続しているかが分かると良い。	3
	(2)地域のにぎわいづくりや活性化に取り組みます <区政推進課 地域振興課 戸籍課>							
	①第40回磯子まつりの開催	⇒ 来場者数 53,000人(約53,000人)	来場者数 約54,000人(9/25開催) ・第40回磯子まつり部会開催 全7回 ・出店者、出演者、従事者説明会開催 5回(8月上旬~9月中旬) ・磯子区制90周年記念事業実行委員会開催 3回(5/11、6/29、9/8)	・磯子まつり振興委員会のメンバーを中心として新たな委員を加え、磯子区制90周年記念事業実行委員会を立ち上げた。 ・磯子まつりが円滑に開催できるよう出店者、出演者、従事者に対し説明会を実施した。 ・パレードゴール地点へのふあふあ(エア遊具)の設置やクラシックカーの展示により、賑わいをもたらすことができた。 ・来年の90周年に繋がるイベントとして「キャッチフレーズ募集」、「磯子区制90周年記念祝い隊メンバー・グループ名募集」を閉会式で実施した。	・磯子区制90周年記念事業実行委員会開催 3回 12月上旬~3月上旬 ・キャッチフレーズ発表 1/5 ・磯子区制90周年記念祝い隊メンバー決定 1月下旬 ・磯子区制90周年記念祝い隊グループ名・曲・衣装発表(3/11ダンスまつり同日開催)	4	・90周年キャッチフレーズ募集と祝い隊メンバー・グループ名募集は④に入れた方がいいのではないかと。磯子まつりのパンフレットは、当日来た人に配るだけでなく、もっと早めに区民の方にお配りした方が、それを見て来場する人がもっと増えたのではないかと。 ・ふあふあやクラシックカーについては、子どもたちが喜んで帰っており、楽しんでいただけたのではないかと。 ・磯子まつりは年々にぎやかになって、良いお祭りになっている。 ・来場者数が約5,400人ということで、90周年に向けての弾みになったのではないかと。	4
	②第5回ISOOGOダンスまつりの開催	⇒ コンテストの応募チーム数 41チーム以上(41チーム)	・審査員長と協議を行い、第5回ISOOGOダンスまつりの概要を決定。 予選会 1/22(日) ※ 応募者多数の部門のみ実施予定 本選 3/11(土)	・天候に左右されず安定的な開催が見込めるため、今回はすべての行事を公会堂で実施することとした。 ・より多くの希望者が応募できるよう、募集期間を延長した。 ・前回まで実施していたワークショップを中止し、毎年多くの応募が集まる発表会の枠を広げることとした。	・開催周知 10月 ・参加チーム募集 10/17~12/9 ・ISOOGOダンスまつり 3/11	3		3
	③商店街のにぎわいづくり	⇒ 商店街と連携したキャンペーンの実施 2回、商店街朝市開催 6回(6回)	商店街と連携したキャンペーンの実施 2回(5/28、9/25) 商店街朝市開催 4回(4/23・24、5/28、7/27、9/25)	・4月の商店街朝市は、地元企業の祭りに追加で参加し、商店街マップを活用したPRも実施できた(まつり全体来場者7,000人)。 ・5月の朝市では、キャンペーンとともに「ふれあい動物園」を実施し、多くの区民に商店街のPRができた(来場者450人)。 ・7月の朝市は、地元企業の夏祭りへ参加し、商店街マップを活用したPRを実施した。(来場者1,000人) ・商店街マップ配布の際、オリジナルグッズプレゼントの概要をわかりやすく明記したチラシと磯子まつりのチラシ(商店街朝市同日開催)を配布しPRできた。	・商店街朝市3回 11/3、1/28、3/11 ・区商店街連合会定例会及び朝市実行委員会の開催3回 10月~3月 ・商店街を区内外へPR ・各商店街の課題を把握するため、ヒアリングの実施	3		3
	④区制90周年に向けた事業の推進	⇒ 区の魅力PR動画の作成、祝「出生・婚姻」記念品贈呈、区の花コスモスを活用したPR	【区の魅力PR動画の作成】 ・構成や主な掲載内容など概要を検討。 【祝「出生・婚姻」記念品贈呈】 ・記念品の概要を決定し、業者との調整を行った。 【区の花コスモスを活用したPR】 ・ゴーヤの苗無料配布時に区の花コスモスの種を無料配布(5月/550袋) ・区内公共施設、保育園、小学校へのコスモス普及啓発(5月~6月) ・コスモスの種を各課窓口配布(約700袋/6月~7月)	【区の魅力PR動画の作成】 ・区の魅力が区内外に広く伝わり、磯子の街並みや風景、区内各施設など様々な魅力を紹介する動画となるよう掲載内容等を検討した。 【祝「出生・婚姻」記念品贈呈】 ・記念品アルバムの1月配布開始に向けて順調に準備作業を進めている。 【区の花コスモスを活用したPR】 ・区の花コスモスとあわせて、来年が区制90周年であることを、区民に広く周知することができた。	【区の魅力PR動画の作成】 ・動画完成 1月 【祝「出生・婚姻」記念品贈呈】 ・祝「出生・婚姻」記念品 9月契約。12月納品。1月配布開始。	3	・90周年など、突発的で大きなイベントのときには当初予想していなかったことが出てくるので、見える形でPRするためにもその都度項目に入れてやっていくべき。 ・コスモス普及について、例えば企業の敷地にコスモスを植えると、磯子区の企業だということを社員にアピールできる機会にもなり、検討したい。 ・コスモスの花が区民に見えるところに咲いていると、もっとアピールできるので、個々に配るだけでなく、地権者の協力を得て積極的に空いているところに咲かせるなどの取組が良いのではないかと。 ・コスモスについては、以前は駅前にプランターで置いてあり、綺麗だという意見があった。	3

施策の柱	取組事項		自己評価			事業評価委員の評価		
	主な事業・取組	指標 ※()はH27実績	中間期 達成数値/達成時期	中間期 振り返りコメント	今後の予定	達成度	コメント	達成度
2 魅力にあふれた住み続けたいまち	(3)温暖化対策やごみの削減、美化推進や緑の創出に取り組みます <区政推進課 地域振興課 こども家庭支援課 土木事務所>							
	①区民1人ひとりが取り組む脱温暖化行動やごみの削減の啓発	⇒ 磯子区環境行動推進本部が策定する行動目標の達成 ※平成28年度の行動目標 <通年の節電・省エネ> 区内スローガン「みんなで取り組もういそごエコアクション」の推進 <ごみと資源の総量> 39230t (前年度比▲17t) (原単位 638g (同▲7g))	・平成28年度磯子区環境行動推進本部総会にて目標設定(5/30)、自治会町内会に目標周知依頼(6/17) ・ゴーヤの苗の無料配布(1100鉢/5月)、公共施設におけるグリーンカーテン育成支援(区内公共施設60か所/5月) ・8月末時点の燃やすごみ量 前年度同時期比 +62トン(+0.6%) 原単位-2g(-0.5%)	・ゴーヤの無料配布は、昨年度より配付数を増やし、大好評だった。 ・打ち水応援隊を地域のお祭り等で実施し、参加者に涼しさを体感していただき身近なエコとして周知・啓発することができた。 ・環境行動啓発リーフレットは、総会で定めた目標と取組をより多くの区民に啓発するため、発行を昨年度の2,350部から13,000部に増加し、区内公立小中学校の全児童生徒数に配布した。同時に、環境に関するアンケートを実施した。 ・各地域でのイベントに出向いて、区民に声をかけ、ごみと資源の分別啓発を行なっている。	・グリーンカーテンパネル展 9月～10月 ・子どもエコフェスタの実施 12月	3	・総量は人口にもよるので、原単位を重視して考えていくべきだ。	3
	②環境事業推進委員・3R応援隊などと協働した環境教室等の啓発活動の実施	⇒ 啓発活動 21回 (21回)	啓発活動2回(9/3、9/21) ※3R応援隊と地域振興課が協働して行った環境教室は2回のみだが、この他に資源循環局磯子事務所と一緒に環境教室を11回実施(指標では磯子事務所と行う環境教室を含めていない。) ・環境事業推進委員・3R応援隊と協働して行った啓発活動全体では、13回実施	・3R応援隊と協働した環境教室の開催は、区内保育園等に周知しているが、今年度は資源循環局磯子事務所と行なう環境教室の要望が多く、2回の実施となった。 ・汐見台小学校での環境教室(9/3)では、前半31名・後半35名の小学校1～2年生へ3Rやごみの分別について、それぞれ一時間の充実した内容の啓発を行なうことができた。	・3R応援隊と協働した環境教室8回 ・イベント等での啓発活動12回 10月～3月 (磯子事務所と行なう環境教室を含めると、今後23回実施予定10月～1月) ・環境事業推進委員との啓発活動(たばこのポイ捨て禁止・歩きたばこの防止啓発)6回 10月～11月	2	・環境教室は、一人暮らしの高齢者向けの勉強会で新たな刺激を受けているようなので、PRして他の自治会でやれるようにしたらどうか。ごみの分別などは高齢者にもっと啓発した方が効果があるのではないかと。毎年3月に開いている環境絵日記展での支援も入れた方がいいのではないかと。今年度もしっかりお願いしたい。 ・環境教室は、7、8月から始めており、後半に増えてくるのではないかと。 ・環境教室に特化しているものが指標になっているのは、変更した方がいいのではないかと。 ・環境教室は啓発を進めることが目的なので、実際に進めているのであれば、もっと評価を上げていいのではないかと。	3
	③まちに緑を増やす活動団体への支援	⇒ 市民活動団体への技術支援 7回 (7回)	技術支援4回(5月、6月、7月、9月)	・公園愛護会やグリーンサポーターズのメンバーと、これまでに手入れしてきた植栽の振り返りや管理の基本となる道具(カマやロープ)の使い方講習を実施した。 ・メンバーからは、受講内容にとどまらず、日常管理における疑問や相談など活発な発言があり、充実した講習となった。	・引き続き計画的に技術支援を行う 10月、11月、1月	3		3
	④全国都市緑化よこはまフェアを契機とした緑の創出	⇒ 聖天川沿い車道の緑化 1か所、駅前緑化 4か所、杉田臨海緑地での緑化推進 3月	【聖天川沿い車道の緑化】 ・聖天川沿い車道の緑化詳細設計委託契約(6/16) 【駅前緑化】 ・新杉田駅花時計:設計委託契約(7/15) ・根岸、磯子、洋光台各駅の花壇設置場所決定 【杉田臨海緑地での緑化推進】 ・計画内容の実行に向けて調整中	【聖天川沿い車道の緑化】 ・順調に設計を進めている。 【駅前緑化】 ・磯子駅花壇設置について、JRと協議を進めている。順調に設計を進めている。 【杉田臨海緑地での緑化推進】 ・杉田臨海緑地での緑化計画の詳細を決定し、関係局と調整を進めた。	【聖天川沿い車道の緑化】 ・聖天川沿い車道の緑化完成 3月 【駅前緑化】 ・新杉田駅花時計完成 2月 ・根岸、磯子、洋光台各駅に花壇設置 3月 【杉田臨海緑地での緑化推進】 ・杉田臨海緑地の完成 3月	3		3
	⑤市立保育園で園児や地域の方々が花や緑に親しむ取組の推進	⇒ 季節の花の栽培 6月～10月、区役所での花の展示 1回、育てた花の種の配布 2回	<各園の取り組み> 滝頭:ピオラをフェンスに、黄花コスモスなどを正門外側に展示。ひまわりと千日紅を種まき。夏以降、ペチュニア、日日草などを展示し、プランターにコスモスの種まき。 杉田:春にナスタチウムを門扉に展示。夏以降、コスモス、ひまわりをフェンス沿いに、黄花コスモスをプランターに展示。 東滝頭:春にパンジーを展示。夏以降、マリーゴールドやサルビアを玄関横に、日日草やマリーゴールドをフェンス沿いに展示。 洋光台第二:サフィニア、ペチュニア、黄花コスモス、ナスタチウムなどをフェンスに展示。ひまわり、千日紅は開花後種を取り配布。 <4園共通の取り組み> ・土木事務所と看板を作成し、各園フェンスに掲示(7月～)	・子どもたちと一緒に、種まきや水やりなどを行い、夏まきの花や緑の育成を体験し、楽しむことができた。 ・保護者や地域の方からは「きれいですね」「子どもたちが育てているのですか、驚きました」などの感想が寄せられている。 ・近隣保育施設との園児交流時に、採取した種や育てた花を花束にしたものをプレゼントし、喜ばれている。	・マリーゴールドや黄花コスモスなどの黄色、オレンジ系の花を区役所展示(10/24～11/2)に向けて栽培 9月～11月 ・花から種を採取し、園庭開放や育児講座などで配布 10月～3月 ・4園共通の「花いっぱい事業だより」を作成し、保護者に配布 2回 10月、11月	4	・子どもたちにとって花を植えることなどは情操教育になるので、市立だけでなく他の保育園にも展開してほしい。	4
(4)区の将来像を見据えたまちづくりに取り組みます <区政推進課>								
①横浜市都市計画マスタープラン・磯子区プラン策定に向けた区民との意見交換の実施	⇒ 磯子区プラン改定素案への活発な意見交換が行われている 9地区	全9地区で意見交換を実施	・9地区での意見交換により、各地区の固有な課題や要望を把握することができた。これにより住民意見を反映した区プラン策定作業が進んでいる。	・意見を参考に素案を策定 11月 ・素案説明会の実施 1月 ・市民意見募集の実施 1月	3		3	

施策の柱	取組事項		自己評価			事業評価委員の評価		
	主な事業・取組	指標 ※()はH27実績	中間期 達成数値/達成時期	中間期 振り返りコメント	今後の予定	達成度	コメント	達成度
3 安全・安心で住みやすいまち	(1)地域で取り組む自助・共助の取組を支援します <総務課 福祉保健課 生活衛生課 高齢・障害支援課>							
	①安全・安心マップの作成	⇒ マップを作成した自治会町内会 50%以上 (47%)	マップを作成した自治会町内会 47% 79/166団体 ・新規作成中:4団体	・地域の都合に合わせた作成スケジュールの設定を可能としたことで、新規作成のニーズに柔軟に応じることが可能になった。	・申込団体に対するマップ作成支援 ~2月 ・作成済み団体に対するマップ活用の支援 通年	3	・安全安心マップを作成した町内会は、防災訓練のときに有効に活用しているようだ。 ・マップを作成した自治会町内会 47%とあるが、実際に必要のない自治会もある。必要としているところは100%の目標でやっていくべきだが、数字だけで考えないで効果的な目標を立てられると良い。	3
	②地域や防災ボランティアと小中学校が連携した防災訓練等の実施	⇒ 10校 (8校)	2校 ・中学校長会 (5/13)、小学校長会 (5/17)にて実施を呼びかけ ・岡村西部連合自治会の防災訓練に岡村小・岡村中の児童生徒が参加 (岡村小180人、岡村中62人) 9/1 ・磯子地区連合町内会の防災訓練に岡村中の生徒が参加 (6人) 9/4	・第1四半期は広く呼びかけを行ったが、小学校と中学校、また地域によって状況の差が大きいことから、第2四半期は未実施の学校を中心に個別の働きかけを行った。 ・働きかけの結果、新たに小学校1校について防災ボランティア団体の協力を得た防災授業の実施に向けた調整を行っている。	・根岸地区合同防災訓練 10/30 ・根岸中防災授業 11/4 ・森東小、さわの里小、浜中拠点訓練 1月 ・汐見台中拠点訓練 2月 ・森中拠点訓練 3月 ・洋光台第一小拠点訓練 (洋光台第一中参加予定) 3月 ・山王台小防災授業 (調整中)	3	・防災訓練のときに、ペットの収容もやっってはどうか。PRだけではなく、実際に訓練したほうがいいのではないかと。	3
	③自治会町内会での災害に備えた要援護者支援の推進	⇒ 自治会町内会の取組を進めるための取組事例のリーフレット作成 12月	・リーフレット構成概要及びヒアリング対象団体の検討 9月	・関係課内でリーフレット構成概要及びヒアリング対象団体を検討したうえで、概ねの方向性を決定した。	・ヒアリング実施 ~10月 ・リーフレット作成 12月 ・区連会での周知 ~2月	3		3
	④地域防災拠点訓練の支援	⇒ 地域防災拠点運営委員対象の講習会開催 2回 (1回)	1回 ・拠点総会にて各運営委員長に実施概要を説明 6/23 ・第1回講習会開催 (参加人数24人) 9/15	・熊本地震の際、避難所における女性への配慮の不足が指摘されたことを踏まえ、女性の視点で見た避難所運営をテーマに第1回講習会を開催した。 ・HUG (避難所運営ゲーム) 訓練を中心とする初任者対象の第2回講習会を準備中である。 ・発災時のボランティアセンターに位置付けられている磯子センターにWi-Fiを導入し、地域防災拠点を含めた区本部運営における情報受伝達体制の強化を図った。	・第2回講習会開催 10/25	3		3
	⑤災害時ペット対策の啓発促進	⇒ 災害時ペット手帳の配布 2,000部	災害時ペット手帳の配布1,800部 ・区獣医師会加盟動物病院(17病院)に配布依頼(8月、各100部)	・一部の動物病院からは、追加配布の要望もあり、動物病院での飼い主への配布が予想以上に順調に進んでいる。 ・マンション内で組織される飼い主の会に配布することもでき、計画時よりも多く配布ができています。	・生活衛生課窓口へ犬の登録等に飼い主が来所する際や、地域防災拠点訓練への災害時ペット対策の説明の際に配布を実施する。 ・配布状況をみて増刷を行う。	4		4
	(2)防災対策と発災時における体制整備に取り組めます <福祉保健課 土木事務所>							
	①災害時医療訓練の計画的な実施	⇒ 10回 (10回)	4回 ・区医師会等関係機関と連携した訓練 5/21 ・関係機関等による情報受伝達訓練 4/21、6/2、8/4	・5月21日の医師会等との訓練については、熊本県に派遣された本市職員の保健師からの報告会を行い、参加した医師から好評を得ることができた。またデジタル簡易無線機を使った受伝達訓練を実施した。 ・情報受伝達訓練を隔月で行うとともに、区医師会等との訓練の準備を行っている。	・区医師会等との連携訓練 11月 ・関東病院での合同訓練 2月 ・情報受伝達訓練 10月、12月、2月	3		3
	②道路・公園のかけ防災工事の推進	⇒ かけ防災工事の着手 3か所<道路2か所、公園1か所> (3か所<道路3か所>)	・杉田二丁目詳細設計委託契約(6月) ・岡村二丁目工事契約手続き中 ・坪呑公園工事着手(5月)	・杉田二丁目:年内工事契約締結に向け、設計業務を順調に進めている。 ・岡村二丁目:関係地権者の承諾を得て、10月下旬契約締結予定。 ・坪呑公園:樹木伐採及び上部擁壁の施工を完了し、順調に工程を進めている。	・杉田二丁目12月着工予定 ・岡村二丁目11月着工予定 ・坪呑公園工事完成予定 3月末	3		3
	(3)地域での食の安全を支援します <生活衛生課>							
①地域でのイベントや配食サービス・昼食会等における「食品取扱の自主管理」支援	⇒ 地域でのイベントや配食サービス・昼食会等における食中毒発生ゼロ	食中毒の発生ゼロ ・自治会・町内会を対象にしたイベントにおける食品等の取扱いに関する講習会を実施 5/30(午前・午後)延べ42団体、64人参加。 ・磯子まつり前に講習会を実施 8/2(午後・夜間)延べ39団体、42人参加。 ・講習会テキストを2000部印刷	・夏祭りの前に講習会を実施することにより、食品提供届出数が増加し、イベントでの食中毒発生予防について周知できた。 ・磯子まつり前に講習会を実施し、食中毒を起こさないよう注意喚起し、表示についても周知した。	・作成したテキストを活用し、自治会・町内会を対象とした講習会の実施 12月 ・配食サービスボランティア団体の食品取扱について支援する。	3		3	